

豊橋浄水場再整備等事業
年間事業計画書(2026-2027)

令和 8 年 2 月

AICHI ウォーター株式会社

目次

1. 事業概要	1
1.1 事業名称	1
1.2 事業期間	1
1.3 本計画書の対象期間	1
1.4 対象施設及び業務内容	1
2. 年間事業工程表	2
3. 実施組織表	4
3.1 基本的な考え方	4
3.2 実施組織表	4
4. 安全管理・衛生管理	8
5. 予定される調達等	8
6. 収支計画	8
7. 業務内容	10
7.1 豊橋浄水場	10
7.1.1 運転管理、保守・点検、水質管理	10
7.1.2 事前調査	11
7.1.3 設計	11
7.1.4 実証実験	12
7.2 豊橋南部浄水場	12
7.2.1 運転管理、保守・点検、水質管理	12
7.3 場外管路	13
7.3.1 巡視、保守・点検	13
7.4 任意事業	13
7.5 脱炭素推進業務	13
7.5.1 基本的な考え方	13
7.5.2 水素技術の導入及び検討	13
8. 緊急時の対応及び対応	14
8.1 基本的な考え方	14
8.2 緊急時連絡体制表	14
9. 交通管理	15
10. 情報公開	15
11. 地域貢献	15

1. 事業概要

1.1 事業名称

豊橋浄水場整備等事業

1.2 事業期間

(再整備期間) 2025 年 12 月～2035 年 9 月

(運営期間) 2035 年 10 月～2056 年 3 月

1.3 本計画書の対象期間

2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日

1.4 対象施設及び業務内容

対象期間における対象施設及び業務内容は、下表のとおりです。

図-1.4.1 対象施設及び業務内容

対象施設	主な業務内容	備考
—	・統括運営業務	
豊橋浄水場	・運転管理、保守・点検、水質管理 ・事前調査 ・設計 ・実証試験	
森岡取水場	・運転管理、保守・点検	
豊橋南部浄水場	・運転管理、保守・点検、水質管理	
大清水取水場	・保守・点検	
万場調整池取水塔	・保守・点検	
場外管路	・巡視、保守・点検	
関連施設（小鷹野浄水場）	・共同使用施設の整備	協議
—	・任意事業	協議
—	・脱炭素推進業務	協議
—	・水素利活用事業	協議

2. 年間事業工程表

対象期間（2026 年度）における工程表を次頁に示します。

図表-2.1.1 年間事業工程表

対象施設	業務内容	2026 年(令和 8 年)									2027 年(令和 9 年)			備考
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
豊橋浄水場	運転管理業務													
"	事前調査													
"	設計業務													
"	実証実験													
森岡取水場	運転管理業務													
豊橋南部浄水場	運転管理業務													
万場調整池大清水取水場	保守・点検業務													
場外管路	巡視、維持管理業務													
	任意事業													協議
	脱炭素推進事業													協議
	水素利活用事業													協議
関連施設 (小鷹野浄水場)	共同使用施設の整備													協議

※破線は定期点検を表す

3. 実施組織表

3.1 基本的な考え方

- 業務全体を一元的に管理するために、本事業全体を統括する統括運營業務における統括運営責任者を配置し、事業の実施体制を構築します。
- SPC が核となり、各ステークホルダーと緊密に連携することで、安定的かつ円滑に事業を遂行します。

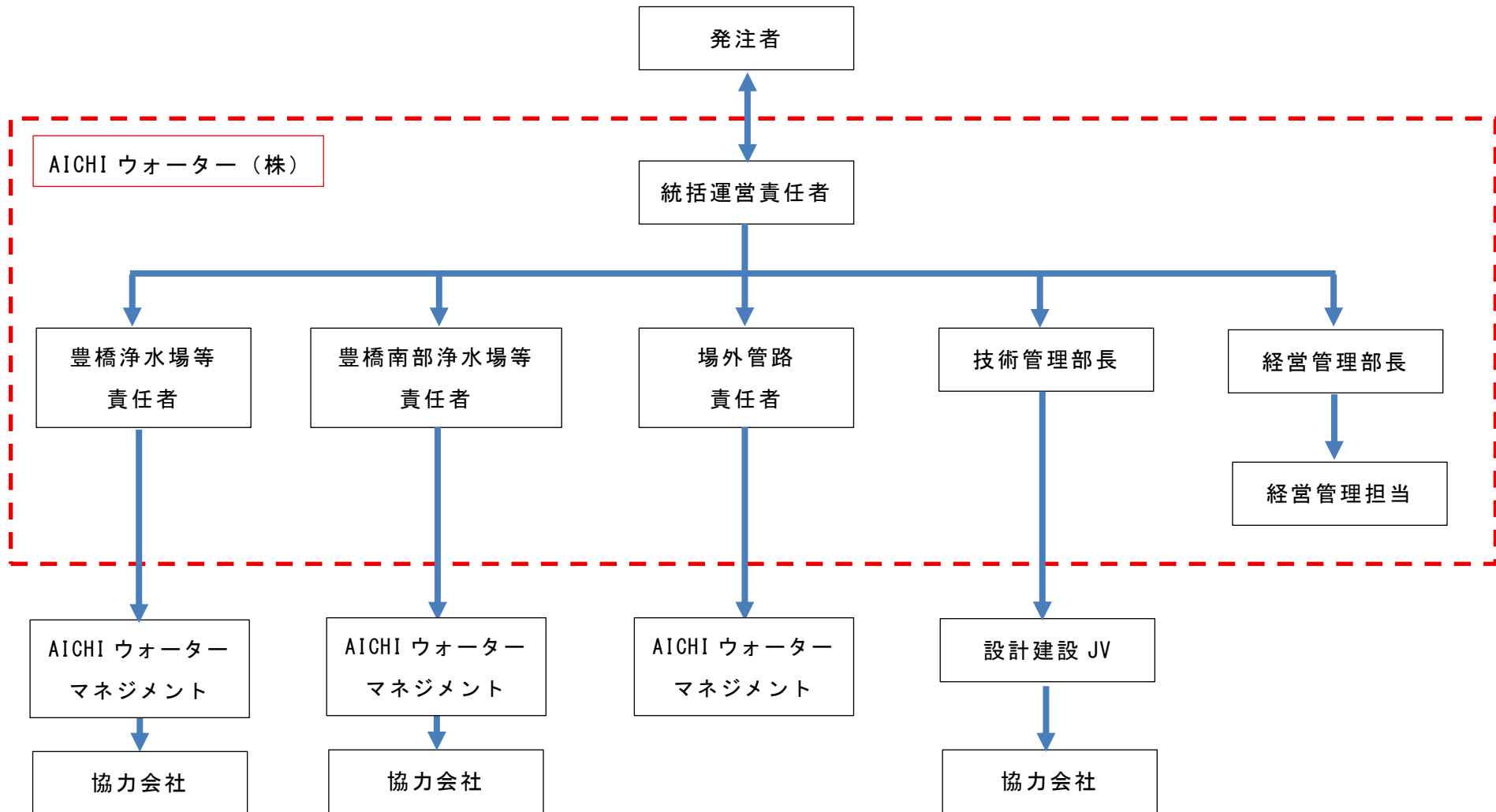
3.2 実施組織表

対象期間における組織表、体制図及び取締役会等の役員の構成を下表に示します。

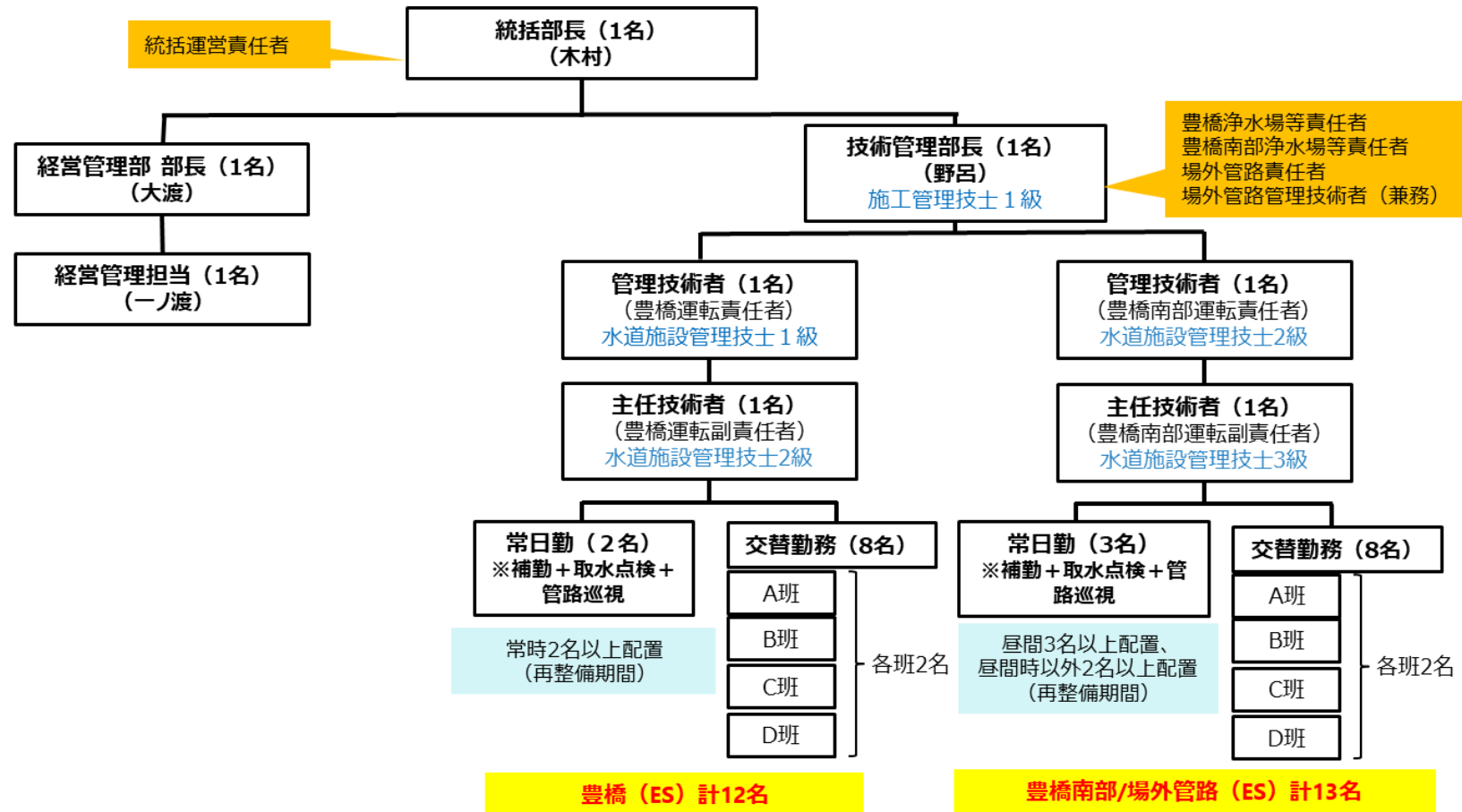
図表-3.2.1 SPC 組織表

氏名	役職名	主な業務内容	備考
木村 太一	統括運営責任者	・ 統括管理業務 ・ 貴県との連絡窓口業務 ・ セルフモニタリング業務	
野呂 好幸	豊橋浄水場等責任者 豊橋南部浄水場等責任者 場外管路責任者 技術管理部長	・ 豊橋浄水場再整備の統括技術管理業務 ・ 豊橋浄水場維持管理責任者 ・ 豊橋南浄水場維持管理責任者 ・ 場外管路維持管理責任者	兼任
大渡 大士	経営管理部長	・ SPC の総務業務 ・ SPC の経理業務他	
一ノ渡 功	経営経理担当	・ 経営管理部長の補佐業務	

図表-3.2.2 組織体制図



図表-3.2.3 維持管理組織体制図（有資格者の配置状況）



- 場外管路の管理技術者は S P C の技術管理部長が兼務、巡視点検は運転管理の従事者が対応
- 取水施設点検（豊橋、週3日：豊橋南部、週2日）と管路巡視は、常日勤者の勤務按分に対応
- ※ 再整備期間は管理技術者・主任技術者の配置が必要（他の浄水場における運転管理業務委託との兼任不可）
- ※ 場外管路管理技術者（巡視）は過去10年以内の水道管の点検業務の実務経験又は施工管理技士（2級以上）若しくはこれに相当する資格を有する者

図表-3.2.4 取締役会等の役員の構成

役職名	所属元企業	人数
代表取締役	インフロニア（前田建設）	1
取締役	インフロニア（前田建設）	3
取締役	東芝	1
取締役	FCC Aqualia S.A.	1
取締役	エステム	1
監査役	インフロニア（前田建設）	1

4. 安全管理・衛生管理

- 本事業期間を通じて、関係法令等を遵守し、労働安全衛生の確保に努めます。
- 安全巡視及び、運転管理、保守・点検、水質管理に従事する者への安全衛生教育について、予め計画書を作成し貴県へ提出するとともに、実施状況を貴県へ年1回以上報告します。
- 水道水の汚染を防止するため、対象施設の環境の保持に努めます。
- 水道法第21条第1項（水道法施行規則第16条）に規定される健康診断（検便）を実施し、その結果を速やかに貴県へ報告します。
- 貴県が別途定める要領に基づき、必要に応じて臨時の健康診断（検便）を実施します。
- 運転管理、保守・点検、水質管理に従事する者が厚生労働省健康局水道課長通知（平成15年10月10日付け健水発第1010001号）に規定される病原体等に罹患した場合は、直ちにその者の出勤を停止し、必要な措置を講じます。
- 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成10年法律第114号）に規定される指定感染症等に、運転管理、保守・点検、水質管理に従事する者及びSPCの関係者等が罹患又は罹患の恐れがあると知り得た場合は貴県へ速やかに報告するとともに、必要に応じて医療機関での診断を受けます。
- 運転管理、保守・点検、水質管理に従事する者本人及び同居家族等が指定感染症に罹患した場合は、直ちにその者の出勤を停止し、必要な措置を講じます。

5. 予定される調達等

- 今年度は以下業務の外部委託を予定しています。
 - ◇ 管路施設保守点検
場外管路等施設の保守点検作業を委託予定。
 - ◇ 管路用地除草
導水管路等の用地についての除草作業を委託予定。

6. 収支計画

- 2026（令和8）年度における収支計画は以下のとおりです。

(単位：円)

事業年度		2026年度
		再整備期間
損 益 計 算 書	営業収益	437,989,672
	利用料金収入 - 水道	0
	利用料金収入 - 工水	0
	サービス購入料A	248,189,672
	サービス購入料B~D	189,800,000
	任意事業収入	0
	営業費用	432,120,723
	工事原価	143,111,590
	統括運営業務(再整備期間)	106,402,931
	動力費	0
	薬品費	0
	人件費	172,200,000
	保守点検費	0
	修繕費	0
	廃棄物処理費	0
	償却費	1,070,000
	その他営業費用	7,275,658
	更新計画案策定費	0
	任意事業費用	0
	公租公課	2,060,544
	営業損益	5,868,949
	営業外収入	0
	営業外費用	3,015,000
	支払利息	3,015,000
	営業外損益	-3,015,000
	税引前当期利益	2,853,949
	法人税等	296,500
	法人税等調整額	0
	税引後当期利益	2,557,449

事業年度		2026年度
資 金 計 算 書	営業キャッシュフロー	-106,478,398
	税引前当期利益	2,853,949
	償却費	2,070,000
	開業費	0
	支払利息	3,015,000
	サービス購入料A - 未収金増減	-248,189,672
	サービス購入料A見合い費用 - 未払金増減	143,111,590
	サービス購入料B~D - 未収金増減	-47,450,000
	サービス購入料B~D見合い費用 - 未払金増減	42,297,263
	ユーティリティ調達費 立替金増減	0
	法人税等支払額	-222,375
	未払/未収消費税の増減	-3,964,153
	投資キャッシュフロー	-10,350,000
	開業費	0
	更新・追加投資 - 運営権設定対象資産	0
	更新・追加投資 - 事業者保有資産	-10,350,000
	残存価値相当額 - 運営権設定対象資産	0
	残存価値相当額 - 事業者保有資産	0
	財務キャッシュフロー	-3,015,000
	出資・増資	0
	配当	0
	借入金	0
	短期借入金	0
	短期借入金返済	0
	借入元本返済	0
	借入金利息返済	-3,015,000
	償還・減資	0
	当期ネットキャッシュフロー	-119,843,398

事業年度		2026年度
貸 借 対 照 表	資産計	648,825,160
	現預金	139,822,660
	未収法人税	0
	未収消費税	0
	サービス購入料A - 未収金	453,272,500
	サービス購入料B～D - 未収金	47,450,000
	ユーティリティ調達費立替金	0
	長期前払費用（県保有資産）	0
	有形固定資産（事業者保有資産）	8,280,000
	繰延税金資産	0
	負債計	398,588,160
	未払法人税	222,375
	未払消費税	2,706,932
	未払配当金	0
	サービス購入料A見合い費用 - 未払金	143,111,590
	サービス購入料B～D見合い費用 - 未払金	51,547,263
	借入金	0
	短期借入金	201,000,000
	更新投資負債	0
	繰延税金負債	0
	純資産計	250,237,000
	資本金	135,000,000
	資本準備金	135,000,000
	利益剰余金	-19,763,000

事業年度		2026年度
借 入 高	借入金残高（長期借入金）	0
	借入金残高（短期借入金）	201,000,000
	借入金残高合計	201,000,000
評 価 指 標	P I R R 算定キャッシュフロー	-116,828,398
	P I R R（元利返済前CFの初期投資に対するIRR）	
	E I R R 算定キャッシュフロー	0
	E I R R（配当の出資金に対するIRR）	
	元利返済前キャッシュフロー	-116,828,398
	元利返済金	-3,015,000
	D S C R（各年）	0.0
	元利返済前キャッシュフローの現在価値	-114,196,176
	現在価値換算割引率	
	借入金	201,000,000
	L L C R	

7. 業務内容

7.1 豊橋浄水場

7.1.1 運転管理、保守・点検、水質管理

- 本業務は、再整備期間中に豊橋浄水場及び森岡取水場を対象として、実施する業務です。
- 詳細は、別途提出しています『豊橋浄水場運転管理業務 業務計画書』のとおりとします。

7.1.2 事前調査

- 豊橋浄水場再整備事業において、設計、工事を行う前に、測量調査、地質調査、埋設物調査を実施し、設計範囲の現況把握、土質条件・既設埋設物状況の整理を行います。
- 調査場所は、以下のとおりとします。
 - ◇ 豊橋浄水場
 - ◇ 小鷹野浄水場
- 調査内容は、以下のとおりとします。
 - ◇ 測量調査
 - ◇ 地質調査
 - ◇ 試掘による埋設物調査
 - ◇ レーダー探査による埋設物調査
- 詳細は、別途提出します『事前調査計画書（仮称）』にて記載します。

7.1.3 設計

- 事前調査の成果に基づき、豊橋浄水場再整備に関する設計を行います。
- 設計に際して必要な申請書類（建築確認申請書等）の作成、及びその補助も含まれます。
- 設計に当たっては、特に以下の点に留意します。
 - ◇ 狭小な用地における再整備
 - ◇ 既存施設を運用しながらの再整備
 - ◇ 環境対策やデジタル化等に資する新技術の導入等
 - ◇ 再整備に当たっての公聴会の開催等
 - ◇ 小鷹野浄水場への非常用電源の供給
- 設計を実施する施設の概要は下表のとおりです。

図表-5.1.1 施設能力・浄水処理能力

項目	能力
施設能力	計画最大浄水量 92,200 m ³ /日
浄水処理方式	直接ろ過法（マクロブロック法）
	超高速凝集沈殿＋急速ろ過方式（濁度上昇時）

図表-5.1.2 浄水施設規模・能力一覧

設備	指針および要求水準による設計標準値		計画最大浄水量（92,200m ³ /日）時の値	
			全稼働時	系列・池停止時
着水井・活性炭接触池	着水井滞留時間	1.5分以上	21.6分	10.8分 (2池中1池停止)
超高速凝集沈澱池	-	-	18.3分	15.4分 (3池中1池停止)
混和池	混和時間	1～5分	1.4分	1.4分
急速ろ過池	ろ過速度 (多層)	240m/日以下	199.2m/日	239.0m/日 (12池中2池停止)
浄水池・ポンプ井	浄水池滞留時間	60分以上	130.9分	60.5分 (2池中1池停止)
	ポンプ井滞留時間	30分以上		

- 設計の詳細は、別途提出します『設計計画書（仮称）』にて記載します。

7.1.4 実証実験

- 超高速凝集沈澱＋急速ろ過方式を採用し、既存排泥設備での処理に影響を与えることなく、過去実績や水安全計画管理基準を踏まえて、濁度 1,000 度まで処理できる施設設計としています。
- 実証実験は、豊橋浄水場における最適値の設定を目的とし、下記事項を検証します。
 - ✧ 処理性能（急速ろ過のろ過継続時間、処理水質）
 - ✧ 適切なろ層構成
 - ✧ 薬品の適正注入率
 - ✧ 水質変動に伴う運転切替時のハンドリング
(超高速凝集沈殿＋急速ろ過⇔直接ろ過)
 - ✧ 排水処理への影響調査（汚泥の性状把握）
- 実施期間は、2026 年 9 月から 2027 年 8 月の 1 年間を予定します。
- 実証実験の詳細は、別途提出します『実証実験計画書（仮称）』にて記載します。

7.2 豊橋南部浄水場

7.2.1 運転管理、保守・点検、水質管理

- 本業務は、再整備期間中に豊橋南部浄水場及び大清水取水場、万場池取水塔、場外管路を対象として、実施する業務です。
- 詳細は、別途提出しています『豊橋南部浄水場運転管理業務 業務計画書』のと

おりとします。

7.3 場外管路

7.3.1 巡視、保守・点検

- 本業務は、再整備期間中に森岡第1導水管、森岡第2導水管、三ツ口導水管、豊橋南部第1導水管・第2導水管・第3導水管を対象として、実施する業務です。
- 場外管路の点検整備や管路用地の除草等を行い、事故の未然防止、並びに適切な施設管理を行うことを目的とします。
- 詳細は、別途提出しています『場外管路維持管理業務 業務計画書』のとおりとします。

7.4 任意事業

- 対象期間においては、以下に提案している事業について貴県と協議を進めます。
 - ✧ 豊橋浄水場に太陽光発電設備を設置
 - ✧ 豊橋浄水場に小水力発電設備を設置
 - ✧ 唐沢池にため池ソーラー（水上太陽光発電システム）を設置
 - ✧ 豊橋南部浄水場に太陽光発電設備を設置

7.5 脱炭素推進業務

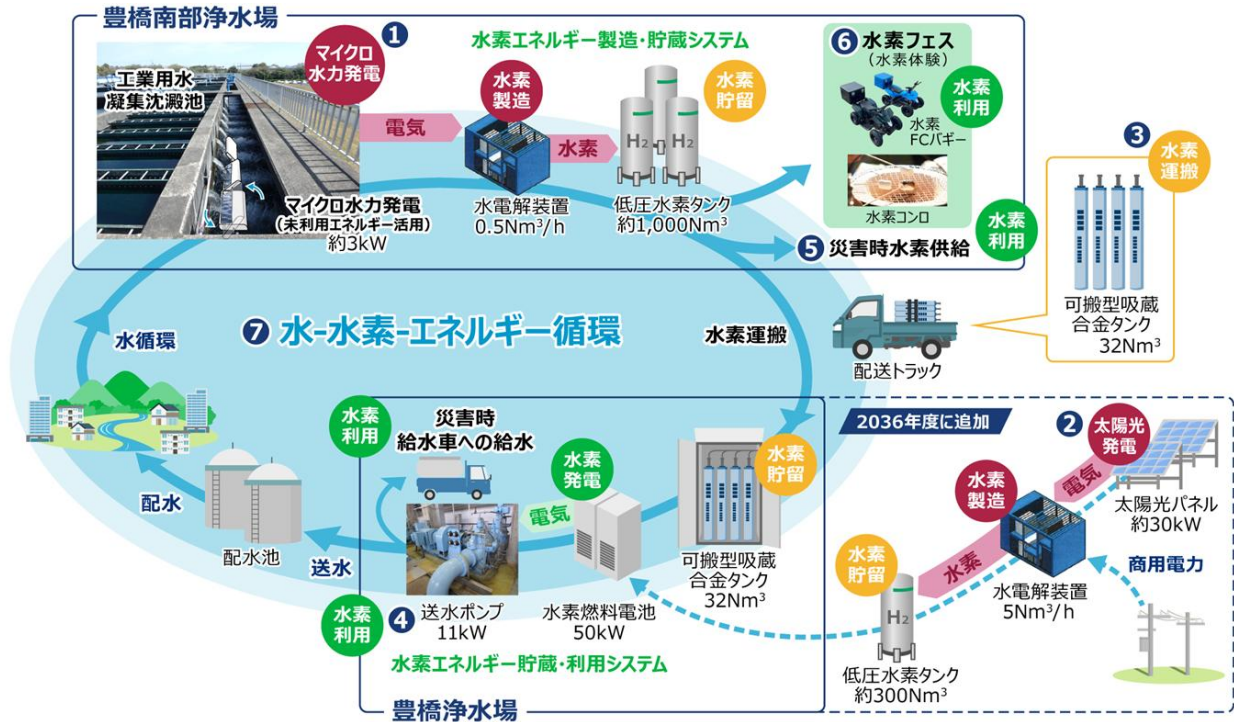
7.5.1 基本的な考え方

- 貴県の取組状況を踏まえ、脱炭素化に係る取組を推進します。
- 本計画書は2026年度を対象としており、太陽光発電設備や小水力発電の稼働に向けた準備作業を進める。

7.5.2 水素技術の導入及び検討

- 本計画書の対象期間では、再整備期間の2030年度に導入を目指し、以下に示す水素技術の導入に向けて、以下提案の検討及び貴県との協議を進め、合意書を作成します。

図表-7.5.1 豊橋浄水場および豊橋南部浄水場での水素活用イメージ



図表-7.5.2 水素活用技術の導入スケジュール案

	再整備期間										運営期間							
	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	2035年度	2036年度	2037年度	2038年度	2039年度～	2045年度	2046年度～		
水素 技術活用	▼貴県との協議完了				▼第1回水素フェス（豊橋南部浄水場）以降、毎年実施												▼第7回水素フェス（豊橋浄水場・南部浄水場）以降、毎年実施	
	設計				工事				設計				工事					
	▼補助金申請				試運転調整				▼補助金申請				▼太陽光発電由来水素追加				▼継続or撤去	
	水素利用運用（15年間）																	
工事工程	基本・詳細設計			STEP 1 東管理棟・1号浄水池・送水ポンプ室の運用開始														
	STEP 2 2号浄水池の運用開始																	
	STEP 3 新浄水処理施設の運用開始																	
	STEP 4 既存施設の撤去																	

※緑枠部分が、本計画書の対象期間における計画部分となります。

8. 緊急時の対応及び対応

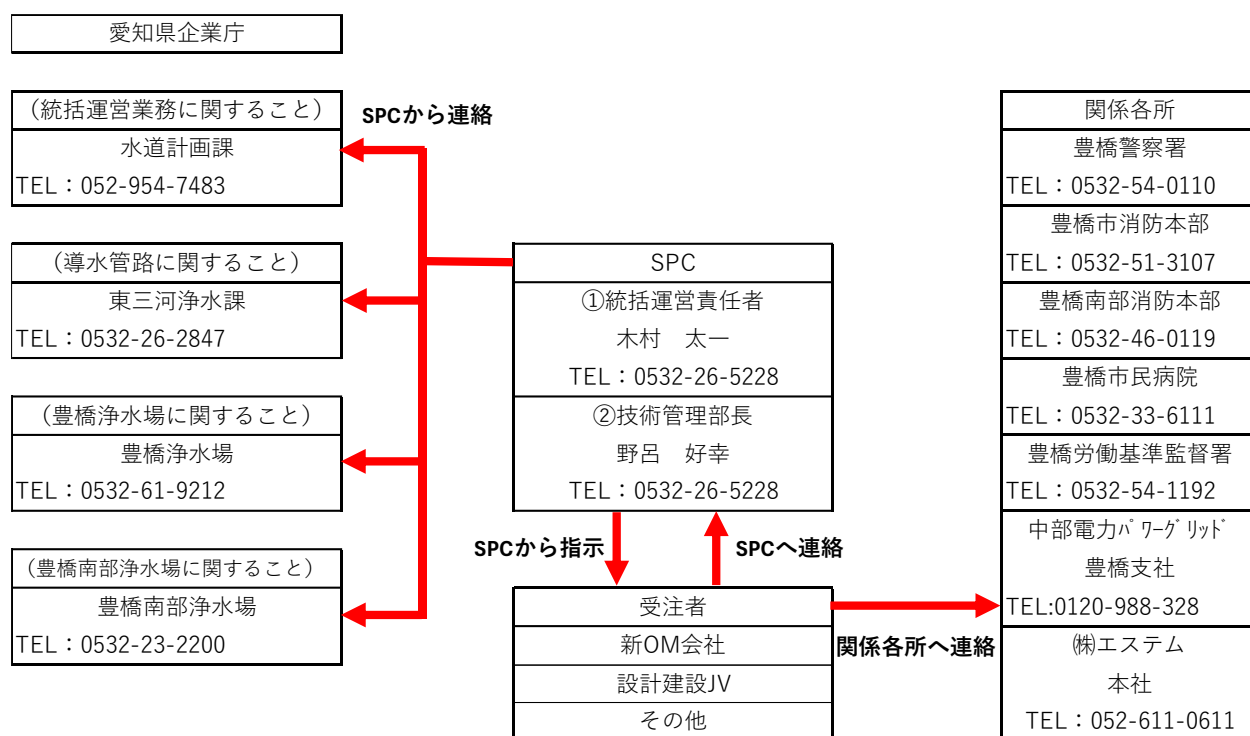
8.1 基本的な考え方

- SPCは貴県との連絡窓口として、各受注者から報告された事故状況等を貴県に連絡及び共有します。
- 各受注者に対しては、必要な関係各所との連絡を実施の有無を確認し、状況に応じて対応を指示します。
- 初動対応を迅速化に行い、人命最優先、2次災害防止を最優先とします。

8.2 緊急時連絡体制表

- 緊急時連絡体制表を下図に示します。

図表-8.2.1 緊急時連絡体制



※豊橋浄水場⇒豊橋市消防本部
豊橋南部浄水場⇒豊橋南部消防本部

9. 交通管理

- 交通管理は、第三者災害防止、渋滞抑制、生活道路配慮等を目的とします。
- 車両運転の際は、常に法令を遵守し、安全運転を心がけます。
- 無理のない運行計画と適切な休憩により、過労・焦りによる事故を防止します。
- 業務車両の運転前後にアルコールチェックを実施し、記録を作成・保管します。

10. 情報公開

- 適時性に留意し、視認性に優れた方法で適切な情報公開を実現します。
- SPC として HP を作成し、工事進捗や水質データなどセルフモニタリング結果を含む各種情報を広く公開します。

11. 地域貢献

- 地域経済を牽引してきた地元企業が構成員に加わっています。他の構成企業や SPC と地域経済界との橋渡し役となり、協力関係を構築します。
- 豊橋穂の国ハーフマラソンへのボランティア活動などに参加します。